

教科(科目)	保健体育(体育)	実施学年 (履修規定)	第一学年 必修
単位数	商業科 2単位 食物科 2単位 生活文化科 2単位 福祉科 2単位	教科書	
		副教材	
科目の目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動の技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の体に関心を持ち、自己の体力や生活に応じた課題をもって各種の運動を実践できる能力を養う。 ・球技では、チームや自己に適した目標や課題をもたせ、互いに協力して計画的に練習やゲームができ、併せて公正な審判や運営ができるようにする。 ・剣道については、基本動作を修得させる。ダンスにおいては集団で作品を発表したり楽しく踊って交流ができるようにする。 		

◇ 進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	オリエンテーション 集団行動 体づくり運動	体育科の基本方針の説明・1年間の実施種目の説明 体を伸展・回転・捻転などの運動をリズムカルに行ったり、歩・走・跳などの全身運動を行う	・授業の取組 ・欠席・見学の有無	・仲間と協力して、積極的に活動している。 ・体ほぐしの意義を知り進んで体力を高めることができる。
5	球技	バレーボール・バドミントン・ソフトボール (各種目10時間) ※2年次の選択制につなげるために、多くの種目に親しむ。	・授業への取組姿勢 ・欠席・見学の有無 ・施設・用具の利用法	・積極的に授業参加している。 ・球技種目の特性に応じ集団的・個人的技能を高める練習やゲームができる。 ・進度に適した自己評価ができています。 ・スポーツの意義や必要性、生涯にわたってスポーツとどのように関わっていけばよいかを知っている。
6				
7		バレーボール・バドミントン・卓球 (各種目10時間) 体育理論		
期末(実技テスト) 各球技の基本的動作と取組姿勢				
9	球技	バレーボール・バドミントン・卓球	・欠席・見学の有無 ・授業への取組姿勢 ・施設・用具の利用法	・積極的に授業参加している。 ・自分の能力や課題に応じた取組ができる。 ・練習やゲームでは、チームにおける自分の役割を果たし仲間と協力した活動ができる。 ・審判の判定や指示に従い、ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとする。
10				

月	単 元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
1 1	武道・ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・剣道 基本練習 試合練習 ・ダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席・見学の有無 ・授業への取組姿勢 ・礼儀作法 ・施設・用具の利用法 	<ul style="list-style-type: none"> ・剣道の基礎・基本を身につけている。 ・練習では、基本動作と対人的技能で攻撃をしたり、相手の技をかわしたりすることができている。 ・ダンスの特性を理解し、基本動作を身につけている。 ・仲間とかかわりをもって踊り、互いの動きのよさ、表現のよさを認め合い、誰とでも楽しもうとしている。 ・社会の変化に伴うスポーツの必要性や意義を知り、生涯にわたってスポーツにかかわっていきこうと進んで学習に取り組もうとする。
1 2	武道・ダンス 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> フォークダンス 創作ダンス 現代的なリズムのダンス 		
期末（実技テスト） 各球技の基本的動作と取組姿勢。				
1	球技	バスケットボール・バドミントン・サッカー (各種目10時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席・見学の有無 ・授業への取組姿勢 ・施設・用具の利用法 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業参加している。 ・チームや自分の能力に応じた適切な課題を設定している。 ・練習やゲームの場所の安全を確かめ、安全な練習方法で行おうとし、危険なプレーをしないなど、健康・安全に留意しようとしている。 ・進度に適した自己評価ができています。 ・運動技能の構造と運動の学び方について関心を持ち、運動の楽しさや喜びを味わおうと進んで学習に取り組もうとする。
2				
3	体育理論			
学年末（実技テスト・総合評価）一年間を通して、各種目の取組。出欠状況。				

評価の観点及び趣旨

① 関心・意欲・態度

運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで運動をしようとする。また、公正、協力、責任などの態度を身に付けるとともに、健康・安全に留意して運動をしようとする。

② 思考・判断

自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。

③ 技能・表現

自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。

④ 知識・理解

社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し知識を身に付けている。

「体育」の総合評価における各観点の割合

① 関心・意欲・態度	30 %程度	② 知識・理解	20 %程度
③ 思考・判断	20 %程度	④ 技能・表現	30 %程度

参考資料

本校体育科基本方針

目 標

- ・集団の一員としての規律を身につける。
- ・体力を向上させ、何事にもあきらめない精神を身につける。
- ・チームワークの大切さを実感し、個人よりも他者を生かす精神を身につける。
- ・自ら進んで集団に寄与する能力を育てる。
- ・技術・マナーの向上に努め、より高い技術の向上を目指し、楽しく運動に親しめるようにする。

1) 体育時の服装について

- ・本校指定の体操服、体育館シューズ等を着用。
- ・球技大会・体育祭等の学校行事についても同様とする。
- ・異装は、基本的に授業に参加させない。

2) 授業を見学するとき

- ・見学理由を申し出る。可能な限り、体育時の服装に更衣し、準備・片づけ・審判・得点係等に参加すること。
- ・長期の見学の場合は、診断書を提出すること。病気・けが等については配慮します。

3) 授業の準備等について

- ・始業はチャイムが鳴り終わった時点であり、それまでに決められた体系で整列を完了していること。
- ・集合・解散を明確にし、授業内容等を把握し、ケガや事故のないように活動できるようにする。
- ・授業時の遅刻は、他の生徒に迷惑をかけるので、時間を守った行動ができるようにする。
- ・用具等の準備・片づけは、全員が協力して行う。

